

和歌山県立医科大学 大学院

医学薬学 総合研究科

Graduate School of
Medical and Pharmaceutical Sciences

大学院案内 Graduate School Guide

生命医療学専攻／博士課程

Division of Medical and Pharmaceutical Sciences

生命医療科学専攻／博士前期課程

Division of Biomedical Sciences

生命医療科学専攻／博士後期課程

Division of Biomedical Sciences



地域とともに世界にはばたく

高度先進的かつ医学・薬学横断的な研究能力 その基礎となる学識と研究倫理を備え かつ広く世界に貢献する高度医療人及び 生命医療科学・医学・薬学の研究者を育成する



和歌山県立医科大学 校章

医聖・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「まんだらげ(チョウセンアサガオ)」の花に「医」の文字をデザインしています。

和歌山県立医科大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、文化の進展に寄与することを目的としています。

医学薬学総合研究科は、「高度先進的かつ医学・薬学横断的な研究能力」や「基礎となる学識と研究倫理」を備えるとともに、広く世界に貢献する高度医療人及び生命医療科学・医学・薬学の研究者の育成に全力で取り組みます。

医学・薬学独立型で達成できる教育や 共同研究のレベルを超えた 分野横断的な教育の充実・ 共同研究の一層の活性化を実現する

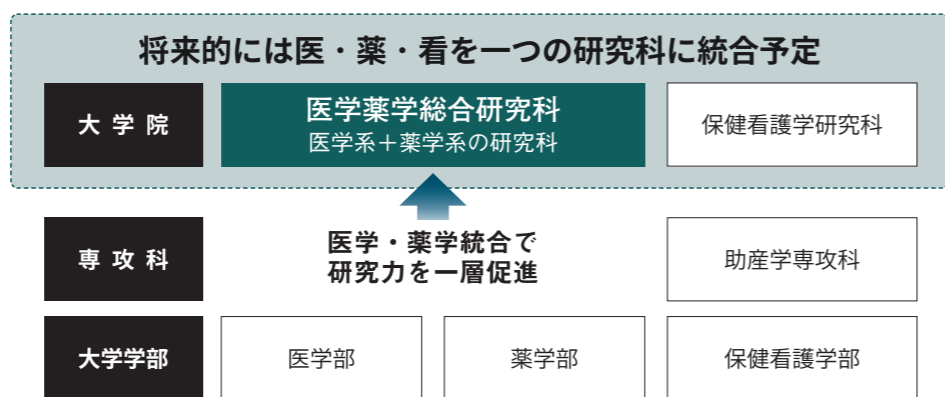
医学薬学総合研究科は、医学・薬学独立型の大学院で達成できる教育や共同研究のレベルを超えた分野横断的な教育の充実・共同研究の一層の活性化を実現させるため、それを担保する組織的な枠組みです。

医学・薬学統合型の枠組みを確保することで、教員及

び学生ともに医学・薬学間の行き来がスムーズになるとともに、同一研究科意識が芽生えることでセクショナルリズムなど縦割りの弊害が除去され、分野横断的な考察や専門の枠にとらわれない研究活動が生まれやすくなり、教育研究が一層活性化することが期待できます。

長い歴史を有する医学研究科を発展的に改組

医学薬学総合研究科の源流は、60年以上の歴史をもつ医学研究科です。医学研究科は医学部医学科を基礎とし、医学分野における研究に注力してきましたが、令和3年4月に薬学部薬学科を設置したことに伴い、医学・薬学統合型の医学薬学総合研究科に発展的改組し、医学分野との親和性の高い薬学分野も主要な研究分野として追加し、更なる発展を目指します。



和歌山が生んだ医聖・華岡青洲の「医の心」を ルーツにもつ大学院

和歌山が生んだ医聖・華岡青洲は、江戸時代末期の医師で、診療とともに麻酔薬の研究に取り組み、世界で初めて全身麻酔下で乳がんの手術に成功後、診療所兼医学校「春林軒」で多くの医師を教育しました。

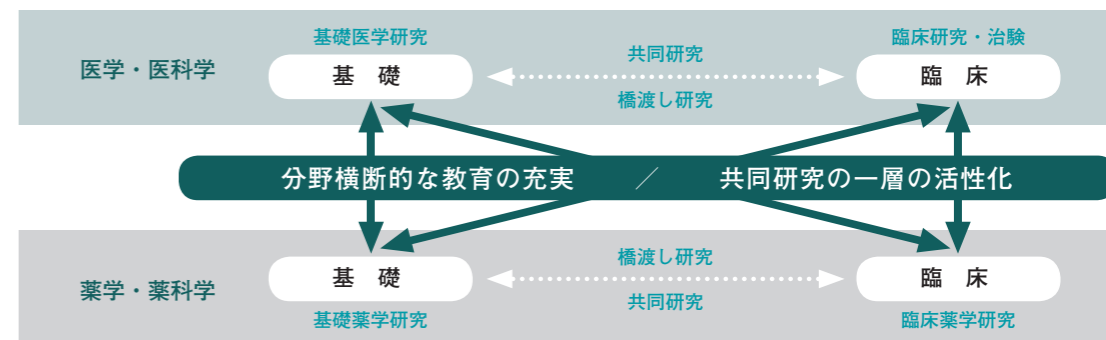
医聖・華岡青洲の言葉に「活物窮理」があります。これは「生きたものの中に真理があるから、深く観察して患者自身や病の特質を見極めなければならない」という教えです。

また、生化学者であった本学の古武彌四郎初代学長の言葉に「天

然に親しむこと、天然を見つめること」があります。これは「課題解決のため熱意を持って粘り強く取り組み、物事の本質を卓越した洞察力で捉えなさい」という教えです。

医聖・華岡青洲の「医の心」をルーツにもつ医学薬学総合研究科は、これら2人の先人の言葉を教育理念のバックボーンとし、これからも豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い医療人材を輩出していきます。

医学・薬学 統合型大学院



学問分野の定義・概念図

医学薬学総合研究科の中心的な学問分野は、「医学」「薬学」であり、「医科学」「薬科学」です。学問分野の定義・概念図は、右図のとおりです。

また、それぞれの学問分野を併せて単一の研究科とする趣旨から、各分野における基盤的研究の深化はもとより、各分野間の垣根を超えた教育研究を展開していきます。



用語の定義・使い方

- | | | | |
|-------|---|----------|---------------------------|
| [医学] | 生体の構造・機能及び疾病を研究し、疾病の診断・治療・予防の方法を開発する学問 | [生命医療学] | 本研究科では医学・薬学と同義とする。 |
| [薬学] | 薬物の性質・作用・製造・分析及びその応用について研究する学問 | [生命医療科学] | 本研究科では医科学・薬科学と同義とする。 |
| [医科学] | 医学及び医学に関連する生命科学の総称であるが、本研究科では医学をベースにした広義の基礎的・応用的な生命科学と定義する。 | [生命医科学] | 本研究科では医科学と同義とする。 |
| [薬科学] | 薬学及び薬学に関連する生命科学の総称であるが、本研究科では薬学をベースにした広義の基礎的・応用的な生命科学と定義する。 | [生命薬科学] | 本研究科では薬科学と同義とする。 |
| | | [医学・医療] | 学問としての医学とその実践である臨床での医療行為等 |

医学薬学総合研究科の概要

医学薬学総合研究科では、医学・薬学を学ぶ生命医療学専攻の博士課程、医科学・薬科学を学ぶ生命医療科学専攻の博士前期課程及び博士後期課程を開設し、それぞれにおいて医学・薬学連携による分野横断的な教育研究を行います。

教育・研究体制

医学薬学総合研究科では、日本及び世界の最新の状況を踏まえ、これからの医療に求められる医療人及び研究者を養成するため、2専攻3課程6プログラムの体制で、それぞれが必要とする知識、見識、考察力、倫理観、研究力等を教授します。

選択する主科目（研究指導を受ける特別研究科目）によって、医学系又は薬学系の学位プログラムが決まり、6学位プログラムごとに定めるカリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）により編成した教育課程の学修を経て、6学位プログラムごとに定めるディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）にそれぞれ該当すると認められる者に学位を授与します。

各専攻・課程・プログラムの詳細や2専攻3課程のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）、カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーについては、本学ホームページをご参照ください。

<https://www.wakayama-med.ac.jp/dept/daigakuin-sougou/index.html>



大学院
医学薬学総合研究科

地域とともに世界に羽ばたく人材

修了・学位取得

大学院医学薬学総合研究科

生命医療学専攻

博士課程（4年制）

先進医学プログラム

先進薬学プログラム

生命医療科学専攻

博士前期課程（2年制）
博士後期課程（3年制）

生命医科学プログラム

生命薬科学プログラム

入学

医療系
技術者

理系学部
卒業生

医師

医学・薬学
研究者

薬剤師

薬学部
4年制
卒業生

企業等の
研究員

長期履修制度

社会人学生で職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士課程は4年、博士前期課程は2年、博士後期課程は3年）を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができる制度です。

社会人学生でも長期履修制度を活用することにより、研究時間を確保することができ、夜間を基本とした教育課程の編成であるため、働きながら学位取得を目指すことが可能な体制としています。

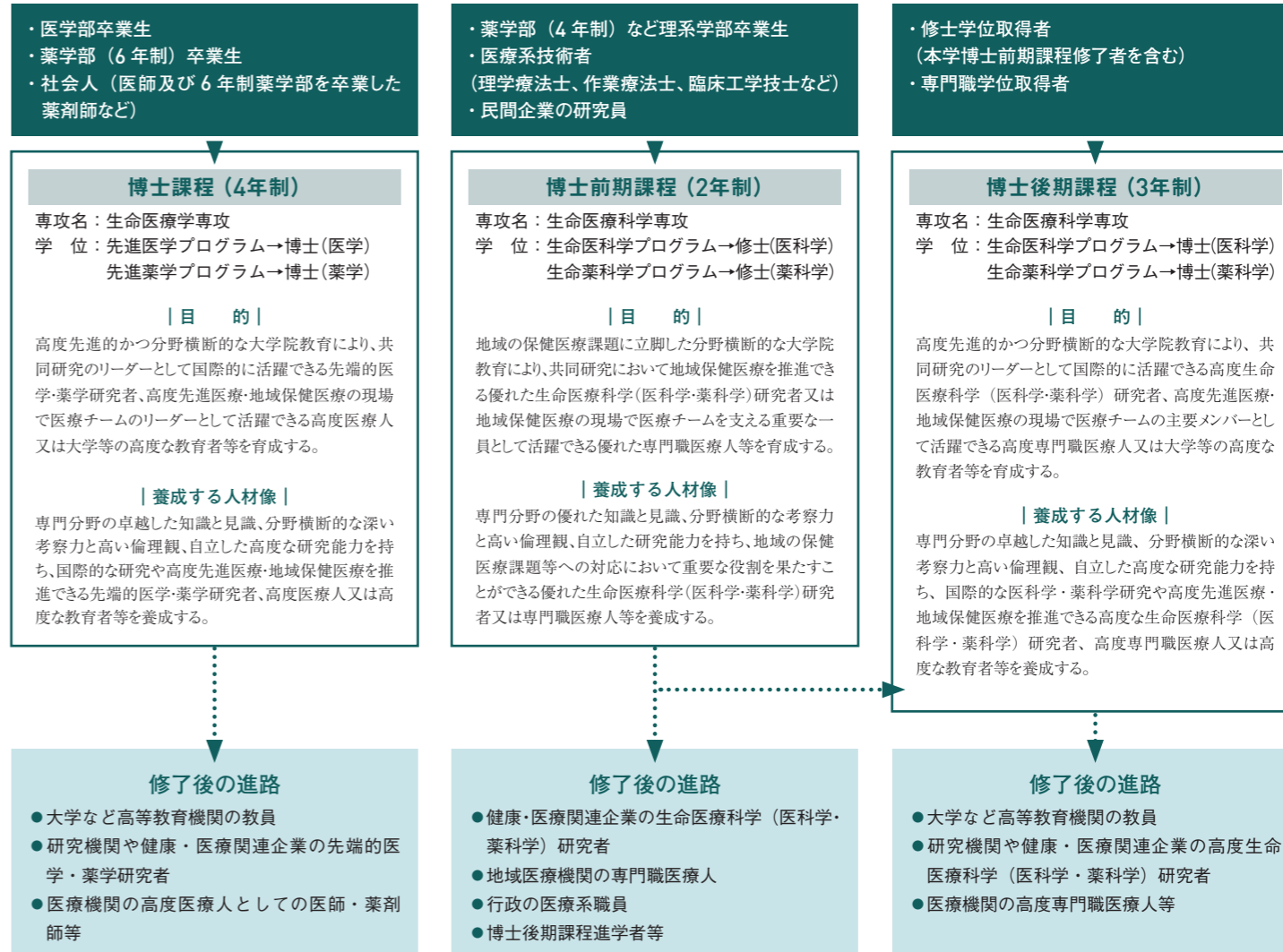
※長期履修制度を利用した場合でも、修了するまでに納入する学費の総額は変わりません。

授業科目の建て付け

区分	生命医療科学専攻		
	生命医療学専攻 博士課程	生命医療科学専攻 博士前期課程	生命医療科学専攻 博士後期課程
共通科目	研究倫理・医療倫理学 B 多職種連携 B 医療情報リテラシー B	研究倫理・医療倫理学 A 多職種連携 A 医療情報リテラシー A	研究倫理・医療倫理学 B 多職種連携 B 医療情報リテラシー B
ベーシック科目	発展的研究方法論 疫学方法特論 Advanced Academic English 基礎医学・薬学特論（I・II） 地域医療課題特論（I・II）	基礎的研究方法論 社会・予防医学概論 Academic English 地域医療課題概論 基礎生体科学特論 生体分子解析学特論 基礎医科学・薬学特論（I・II）	発展的研究方法論 疫学方法特論 Advanced Academic English 基礎医学・薬学特論（I・II） 地域医療課題特論（I・II）
専門科目	分子生命科学特論 感染症学特論 病理病態学特論 B 腫瘍学特論 最新臨床薬理学特論 免疫・発がん特論 神経再生・発生・疾患学特論 死因究明学特論 医療データサイエンス学特論 B	人体構造機能科学特論 機能調節薬理学特論 微生物・ウイルス・免疫学特論 病理病態学特論 A 臨床医学特論 健康科学特論 医療データサイエンス学特論 A 安全科学特論 医薬品開発特論 最先端創薬科学特論 健康機能調節学特論	臨床医学特論 健康科学特論 創薬標的評価学特論 神経薬理学特論 基礎薬科学特論 がんに対する医学・薬学アプローチ
特別科目	社会医学、形態機能医学、細胞分子機能医学、総合医療医学、器官病態内科学、器官病態外科学、物理・化学薬学、生命薬学、医療薬学、臨床・社会薬学 上記科目毎に（特別演習 I・II + 特別研究）を配置	総合医療医学、器官病態内科学、器官病態外科学、物理・化学薬学、生命薬学、医療薬学、臨床・社会薬学 上記科目毎に（特別演習 + 特別研究）を配置	臨床医学特論、健康科学特論、創薬標的評価学特論、神経薬理学特論、基礎薬科学特論、がんに対する医学・薬学アプローチ 上記科目毎に（特別演習 + 特別研究）を配置

※授業科目等の詳細は、研究科ホームページに掲載しています。

入学から修了までのフローチャート



医学薬学総合研究科の領域及び特別科目・コース編制

基礎となる学部

医学部基礎医学講座① 法医学 衛生学 公衆衛生学	医学部臨床医学講座⑤ 臨床感染制御学 各センター等
医学部基礎医学講座② 解剖学第1 解剖学第2 生理学第1 生理学第2 薬理学 病理学	医学部臨床医学講座④ 人体病理学
医学部基礎医学講座③ 生化学 分子遺伝学 微生物学	医学部先端医学研究所 生体調節機構研究部 難病発症機構研究部 分子病態解析研究部 医学部教養・医学教育大講座 各センター等
医学部臨床医学講座① 神経精神医学 放射線医学 リハビリテーション医学 救急・集中治療医学 麻酔科学	附属病院 各センター等
医学部臨床医学講座② 内科学第1 内科学第2 内科学第3 内科学第4	腎臓内科学 血液内科学 脳神経内科学 リウマチ・膠原病科学 小児科学
医学部臨床医学講座③ 外科学第1 外科学第2 脳神経外科学 整形外科科学 形成外科学	泌尿器科学 産科・婦人科学 眼科学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 皮膚科学 歯科口腔外科学 附属病院
薬学部物理・化学薬学部門 薬品物理化学 薬品化学 生薬・天然物化学	
薬学部生命薬学部門 病態解析学 生物化学 分子生物薬学 生体機能解析学 衛生薬学	
薬学部医療薬学部門 病態生理学 薬品作用学 薬物治療学 薬剤学	
薬学部臨床・社会薬学部門 病院薬学 社会・薬局薬学 医療薬剤学 医療情報薬学 医療開発薬学	医療教育企画室

医学薬学総合研究科

領域	
社会医学	
形態機能医学	
細胞分子機能医学	
総合医療医学	
総合医療医学	
器官病態内科学	
器官病態外科学	
器官病態外科学	
物理・化学薬学	
生命薬学	
医療薬学	
生命薬学	
医療薬学	
臨床・社会薬学	

区分	生命医療学専攻（博士課程）		生命医療科学専攻（博士前期課程）		生命医療科学専攻（博士後期課程）	
	領域	講座・研究室（科目）	領域	講座・研究室（科目）	領域	講座・研究室（科目）
A区分	社会医学	法医学 環境保健予防医学 臨床感染制御学 成育社会医学	社会医学	法医学 環境保健予防医学 公衆衛生学 医療統計学 医療データサイエンス学/医療データサイエンスコース	社会医学	法医学 環境保健予防医学 公衆衛生学 医療統計学 医療データサイエンス学/医療データサイエンスコース
	形態機能医学	細胞生物学 分子機能形態学 システム神経生理学 統合分子生理学 機能調節薬理学 分子病理学 人体病理学	形態機能医学	統合分子生理学 機能調節薬理学 分子病理学	形態機能医学	統合分子生理学 機能調節薬理学 分子病理学
	細胞分子機能医学	代謝生物化学 分子遺伝学 病原微生物学 分子免疫学 分子病態解析学 分子細胞制御学 生体分子機能解析学 ゲノム機能制御学	細胞分子機能医学	代謝生物化学 分子遺伝学 分子病態解析学	細胞分子機能医学	代謝生物化学 分子遺伝学 分子病態解析学
B区分	総合医療医学	精神医学 放射線医学 リハビリテーション医学 救急・集中治療医学 麻酔科学 総合診療学 総合医療学 緩和医療学/緩和医療専門医養成コース	総合医療医学	放射線医学 救急・集中治療医学 麻酔科学	総合医療医学	放射線医学 救急・集中治療医学 麻酔科学
	器官病態内科学	糖尿病・内分泌代謝内科学 消化器内科学 呼吸器内科学 循環器内科学 腎臓・体内環境調節内科学 血液内科学 脳神経内科学 リウマチ・膠原病科学 発達小児医学 腫瘍内科学/がん薬物療法専門医コース	器官病態内科学	糖尿病・内分泌代謝内科学 呼吸器内科学 循環器内科学 腎臓・体内環境調節内科学 リウマチ・膠原病科学	器官病態内科学	糖尿病・内分泌代謝内科学 呼吸器内科学 循環器内科学 腎臓・体内環境調節内科学 リウマチ・膠原病科学
	器官病態外科学	胸部外科学 消化器外科学 脳神経外科学 整形外科科学 形成外科学 泌尿器科学 生殖病態医学 視覚病態眼科学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 皮膚病態学 口腔顎顔面外科学	器官病態外科学	脳神経外科学 整形外科科学 脊椎脊髄病学 視覚病態眼科学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	器官病態外科学	脳神経外科学 整形外科科学 脊椎脊髄病学 視覚病態眼科学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
C区分	物理・化学薬学	薬品物理化学 薬品化学 生薬・天然物化学	物理・化学薬学	物理・化学薬学 薬品物理化学 薬品化学 生薬・天然物化学	物理・化学薬学	物理・化学薬学 薬品物理化学 薬品化学 生薬・天然物化学
	生命薬学	病態解析学 生物化学 分子生物薬学 生体機能解析学 衛生薬学	生命薬学	病態解析学 生物化学 生体機能解析学 衛生薬学	生命薬学	病態解析学 生物化学 生体機能解析学 衛生薬学
D区分	医療薬学	病態生理学 薬品作用学 薬物治療学 薬剤学	医療薬学	医療薬学 薬品作用学	医療薬学	医療薬学 薬品作用学
	臨床・社会薬学	病院薬学 社会・薬局薬学 医療薬剤学 医療情報薬学 医療開発薬学 腫瘍薬物療法学	臨床・社会薬学	臨床・社会薬学 病院薬学 医療薬剤学 医療開発薬学	臨床・社会薬学	臨床・社会薬学 病院薬学 医療薬剤学 医療開発薬学

専門コースの設定

本学は大阪大学を中心として申請した文部科学省のがんプロフェッショナル養成プランに参画しており、これまででもがん医療を担う高度医療人として、緩和医療専門医及びがん薬物療法専門医の養成に取り組んできました。専門内容に特化した講義・演習・研究指導を受ける必要があるため、博士課程に「緩和医療専門医養成コース」及び「がん薬物療法専門医養成コース」の専門コースを開設し、より専門的な知識を修得できる体制としています。

また、昨今、医療ビッグデータやゲノム情報など医療関連分野でのデータ利活用、医療データサイエンスが重要視されています。医

療データやリアルワールドデータといった様々なデータの利活用により、病態の原因解明や個別化医療・予防医療への応用や公衆衛生・地域保健分野でのより深化し精度の高い統計学的アプローチなど、今後ますます発展が期待される分野です。この分野の推進は、医学薬学総合研究科が目指す高度先進医療・地域保健医療の推進にもつながるものであり、がんプロフェッショナルの養成と同様に、博士前期課程及び博士後期課程に「医療データサイエンスコース」を開設し、データサイエンスに強い人材の養成を目指します。

その他情報（入試・学費・奨学金）

入試では専門筆記試験（志望する主科目（特別科目）分野を中心に出題）、語学試験（英語）及び面接を実施します。
 学生募集要項の詳細については、本学ホームページをご参照ください。

<https://www.wakayama-med.ac.jp/nyushi/daigakuin-sougou/index.html>



入試・入学案内

専攻	選抜方法	標準修業年限	入学定員
生命医療学専攻博士課程	①専門筆記試験	4年	35名
生命医療科学専攻博士前期課程	②語学試験（英語）	2年	14名
生命医療科学専攻博士後期課程	③面接	3年	7名
		合計	56名

※②語学試験（英語）は、TOEFLPBT、TOEFLiBT、TOEIC公開テスト(L&R)又はIELTS(overall score)のいずれかで、基準点を満たした成績証明書の提出をもって試験に代えることができます。

学費や奨学金の詳細については、本学ホームページをご参照ください。

<https://www.wakayama-med.ac.jp/nyushi/gakuhi/index.html>

<https://www.wakayama-med.ac.jp/nyushi/gakuhi/shougakukin/index.html>



入学金・授業料



奨学金

【学費】 入学金 282,000円 / 授業料(年額) 535,800円

※在学中に授業料が改定された場合、改定時から新授業料が適用されます。

交通アクセス



■ 紀三井寺キャンパス(医学系)

和歌山県和歌山市紀三井寺811番地1

- JR紀三井寺駅より徒歩約7分
- JR和歌山駅又は南海和歌山市駅から和歌山バス約18～25分
「医大病院」又は「医大病院前」下車 徒歩約1～3分

■ 伏虎キャンパス(薬学系)

和歌山県和歌山市七番丁25番1

- 南海和歌山市駅から徒歩約12分
- JR和歌山駅から和歌山バス約5分「和歌山城前」下車 徒歩約2分
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約3分「公園前西」下車 徒歩約1分

■ 三葛キャンパス(医学系の一部)

和歌山県和歌山市三葛580番地

- JR紀三井寺駅東口より徒歩約10分
- JR和歌山駅から和歌山バス約14分「三葛」下車 徒歩約10分

講義



講義は対面及び配信にて実施します。
 対面の場合は講義担当教員の所属キャンパスで講義を行います。

研究指導



研究指導は担当教員の研究室が所在するキャンパスで行います。
 医学系の一部科目は三葛キャンパスでの実施となります。



和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科

<https://www.wakayama-med.ac.jp/dept/daigakuin-sougou/index.html>

問い合わせ先：〒641-8509 和歌山県和歌山市紀三井寺 811 番地 1 和歌山県立医科大学 事務局学生課

電話番号：073-441-0702（大学院担当） / E-mail: kaiso@wakayama-med.ac.jp

※本パンフレットに記載している内容は令和5年9月現在のものであり、最新の情報は研究科ホームページでご確認ください。



研究科 HP